

中学校で「おやじ」の授業

相馬 満

1. はじめに

札幌市西区にある市立琴似中学校には、1999年設立の「平成おやじの会」という、PTA会員の父親を中心とした会があります。私も息子が同校に在学中のため入会しています。

主な活動内容は、地域イベント時の見廻りや部活動との交流・支援ですが、大変珍しく最も特徴ある行事は、何といても会員による「おやじの授業」です。

この特別授業は年に一度、11月の日曜日に、学校の様子を地域の人達や保護者に自由に見てもらう学校行事「公開授業」の中の一環として行われます。今年も1年生から3年生まで全21クラスに21人のおやじ講師が出向き、1校時・50分間の授業を受け持ちました。講義内容は自分の趣味から仕事、人生論まで実に様々で、この授業を目当てに近隣住民の方々も毎年大勢訪れているそうです。

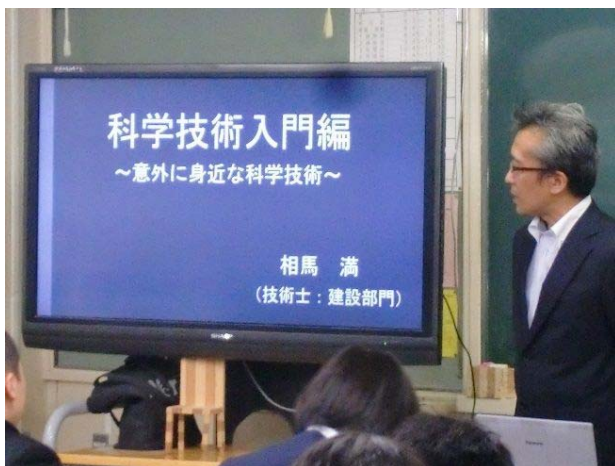


写真-1 自己紹介

この「おやじの授業」は会が発足した初期の頃から学校側と協力して毎年行われており、公立中学校としては大変珍しく、今でも他校からの視察や問い

合わせが多数あるとのこと。

生徒達にとっても、普段の授業では聞けない世界を知ることができるため人気があるようで、会員の中にはあえて自分の子供がいるクラスを担当し、熱いメッセージを送る人もいます。

2. 目的

近年、リケジョ・ドボジョといった女性の進出が嬉しい反面、土木職に従事する者は年々減少し、「希少生物」とも言われています。

(私はこの「土木」という言葉が大好きです。「土」と「木」で自然と共存する分野だと思っていますが、近年はイメージが悪いとのことで、「社会基盤〇〇」などになっているのが寂しく感じます)

技術士の存在について知らない人が多いことや、中学生に科学技術について興味をもってもらいたいという思いからこの一日講師を引き受けました。

私も息子のクラスを担当しようとしたのですが、息子からきっぱりと断られ、更に違う学年を担当するようと言われてしまいました。



写真-2 科学技術の分野と専門を紹介

3. 私の授業

自分の専門を取り入れながら「科学技術入門編(意外に身近な科学技術)」と題し授業を行いました。

主旨としては、

- ① 将来社会人になった時に必要がないからという理由で理科離れが進んでいる。しかし実はとても身近なところに科学技術はたくさん存在し、それにより便利で快適な生活を過ごしている。
- ② 数学と理科を嫌いにならないでほしい。
- ③ 化石や恐竜絶滅の謎を通して、色々な仮説や科学的事実を多方面から考え解き明かしていくと別の姿や問題点が見えてくる。科学的考察を深めることの面白さ。
- ④ わからないことは質問をする前に「自分で調べよう！」そうすることで知識が広まる。



写真-3 上着を脱ぎ熱く語る

4. 終えての感想

わかりやすいように、そして中学生を飽きさせないようにするため、興味がありそうな題材を通して環境破壊の深刻さも伝えつつもりですが、改めて人に伝える難しさを実感しました。

また、台風18号による河川災害の対応に多忙を極めていた頃と重なり、資料やレジュメが完成したのが前日の深夜になってしまい、若干説明に丁寧さが欠けてしまったことを反省しました。寝不足状態で50分間の授業は想像していた以上にきびしく、日頃の不節制を後悔しました。

しかし準備も含め、得るものが非常に大きい貴重な体験でした。生徒達の熱い眼差しに感激し、ぜひ



写真-4 体力の消耗で座りながらの授業

また来年も参加しようと今から題材を探しています。

<生徒さんからの感想(抜粋)>

- ・今日の1時間で、私は確実に科学に対する考えが変わりました。
- ・科学技術というものは便利に快適に過ごす、良いものとして使うことができるけど、環境を壊すこともできるということがわかりました。
- ・沢山の科学に関するお話の中で、今日初めて知った内容があったので科学に対する見方が変わりました。まだまだ私は知らないことばかりなので、今からもっと理科や数学を勉強し疑問に思った事を地道に解決していこうと思いました。とても面白いお話だったので聞いていて楽しかったです。
- ・自分も宇宙関連の話が好きでよく本を読んでいるのですが、そこに「科学」と言う分野が入り混じることで、世界は広がり、たくさんの発見があることがわかりました。
- ・私は理科の中で地層や化石の話が出てくる単元があまり理解できず、苦手でした。しかし、今日の話聞いて科学って面白いと思いました。とっても楽しかったです。

相馬 満(そうま みつる)
技術士(建設部門)

